



## 日本の大学生が考える「香港のショッピングモールで ミレニアル世代の心を掴み、顧客を獲得するための施策」とは？ APUジャパンビジネスケースコンペ2019実施 優勝は東北大学の学生チームに

2019年12月7日（土）・8日（日）APU主催、HSBCグループがスポンサーとなり「APU Japan Business Case Competition (JBCC) 2019」をAPUキャンパスで開催しました。

2015年にスタートし、4年目となる今大会は、海外のビジネススクールで教育の一環として行われている ケースコンペティション\*を、日本の学部生を対象に英語で実施する大会で、全国から、10大学（東北大学、名古屋商科大学、慶應義塾大学、早稲田大学、立教大学、同志社大学、立命館大学、立命館アジア太平洋大学）32チーム36名の大学生が集まり、自ら持てる知識やアイデアで戦いに挑みました。

JBCC本大会への出場を足がかりに、世界中で行われる国際的なケースコンペティションに挑戦していく学生を育成することを目的として、JBCC運営実行委員会が毎年開催しています。企業が直面するさまざまな課題の解決策を学生チームが考え出し、プレゼンテーションを行って、その内容を競うというもので、今回は東北大学のチームが優勝しました。大会優勝の東北大学は、来年行われるHSBCグループ主催のビジネスケース世界大会へ日本代表チームとして出場します。

金融、人材サービス等のグローバル企業の取締役、役員等から構成される12名が審査員を務めました。



APUのチームが審査員、  
聴衆を100人の前でプレゼン



優勝した東北大学のチーム「TU」

## ニュースリリース

立命館アジア太平洋大学  
2019年12月20日 配信 APUリリース 2019-53



20周年、  
世界を変える  
物語はつづく。  
立命館アジア太平洋大学  
2000-2020

Shape your world  
**APU**  
Ritsumeikan  
Asia Pacific University

1日目の予選では、制限時間3時間で各チームが、インターネットや書籍などの持ち込みなしで、自分たちの持つあらゆる知識やアイデアを駆使し、課題の解決策を考案。課題は「金融会社の社会貢献活動」と、「中国におけるEコマース事業の展開」で、各チーム20分のプレゼンテーションを行い、審査員から投げかけられる鋭い質問に答えました。チームTU（東北大学）、チームEVENA consulting（APU）、チームVarination（APU）の3チームが決勝に進出しました。

2日目の決勝では、「香港にあるショッピングモールで、芸術と教育というテーマを通じて2000年代生まれの顧客をどのように獲得するか」をテーマに、審査員と聴衆約100人の前でプレゼンテーションを行いました。厳正な審査の結果、「Time is Nature」をテーマに、ショッピングモールの階層を年代ごとに分けたマーケティング戦略を提案したチームTU（東北大学）が優勝の栄冠に輝き、来年行われるHSBCグループのビジネスケース世界大会に出場します。ベストスピーカー賞には、観客の笑顔も誘いながら発表した2位のチームEVENA consulting（APU）のHong Ngoc Nguyenさん（ベトナム出身）が選ばれました。



ベストスピーカー賞に輝いたHong Ngoc Nguyenさん



第2位を受賞したAPUのチーム  
EVENA consulting



第3位を受賞したAPUのチーム  
Varination

\*ケースコンペティションとは

欧米の大学や教育機関でよく実施されているもので、マネジメントを学ぶ学生の実践的思考力、チームワーク力、課題解決能力などの向上を目的とした、世界各地で行われているチーム対抗形式の大会です。参加学生は、スポンサー企業のケーススタディーを用いて、経営課題に対する解決策を提案します。提案内容とプレゼンテーションの質を、スポンサー企業を含む審査員が評価します。大会のルールは様々ですが、一般的に4人でチームが組まれ、24時間前後の限定された時間で課題に取り組みます。